講義名	国際金融論				
科目区分	学部専門科目				
担当教員	羽森　直子				
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 ２時限		授業形態		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース／2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメン／ 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング／2014年度 サービス産業学部				
履修開始年次	３年生	単位数	2	備考	

主題と概要

国際金融論は、経済学の主要分野の一つである金融論の応用分野で、その内容は極めて多岐にわたっており、変化も激しいことが特徴です。しかも、世界規模でヒトやモノ、お金の行き来が急速に拡大するというグローバル社会を迎え、国際金融論を学ぶ重要性は増しています。
本講義では、国際金融論の基本的な事項についてできるだけ平易な解説を行い、受講生の皆さんに理解を深めていただくことを目的としています。
具体的には、国際収支、外国為替、国際通貨制度、国際通貨統合、国際金融市場などを採り上げます。

到達目標

学生は、国際金融の基本的な内容について理解を深め、同分野の問題に関して自分なりの意見や見通しを持つことができるようになることを目指します。

提出課題

中間レポート課題と期末レポート試験を提出していただきます。
随時、宿題も出します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

随時実施する宿題については、次の回に解答を公表し、解説を行います。
レポート課題については、提出前に採点に関する注意事項を説明します。また、中間レポート提出後には全体的な講評を行う予定です。

評価の基準

中間レポート（約３０％）
期末レポート試験（約70%）

履修にあたっての注意・助言他

国際金融論は金融論の応用分野ですので、この科目をより深く理解するためには、ミクロ経済学、マクロ経済学、そして金融論を履修していることが望ましいです。
日本だけでなく、外国のことや世界のことにも関心を持ちましょう。
授業中の私語・携帯操作その他態度不良の場合は教員は注意をします。何度も注意された学生は、次のステップとして得点を大幅に減点されることがあります。

教科書

. 使用しません。.

プリント資料及び参考文献

適時配布、紹介します。

授業計画

第1回　国際金融とは？
第2回　国際収支：特徴、経常収支と国民経済
第3回　国際収支：国際収支統計の項目と特徴
第4回　外国為替：為替相場
第5回　外国為替：外国為替市場
第6回　外国為替：為替相場決定理論（購買力平価説、金利平価説）
第7回　外国為替：為替相場決定理論（予想、市場介入）
第8回　国際通貨制度：意味と機能
第9回　国際通貨制度：歴史（金本位制、ブレトンウッズ体制）
第10回　国際通貨制度：歴史（ニクソンショック、変動相場制）
第11回　国際通貨統合：欧州通貨統合の歴史
第12回　国際通貨統合：欧州通貨統合の実現
第13回　国際通貨統合：欧州中央銀行
第14回　国際通貨統合：欧州通貨統合の評価、ユーロ危機
第15回　国際金融市場

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各回の講義ノートと配布プリントの内容について、復習しておいてください。（約1.5時間）
宿題も随時出します。（約1.5時間）
また、レポート課題作成にあたっては、約1か月間にわたり調べ学習をした結果をまとめていただきます。（約15時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考